

## SSH 英国ウェールズ海外研修 20180804

SSH 事業の一つとして、英語での研究発信力を育成し、国際社会で活躍するグローバルリーダーを育成することを目的として、SSH 海外研修を毎年実施しています。

今年度は、8月4日（土）から8月13日（月）の日程で、**英国（ウェールズ）での海外研修**を実施し、選抜された4年生5人、5年生5人の計10名が参加しました。

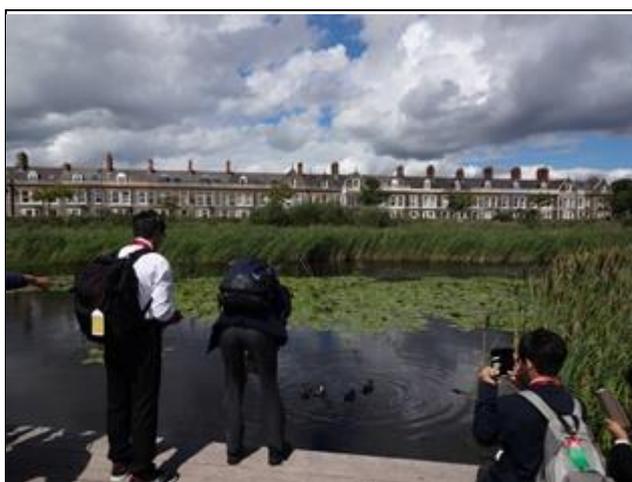
現地**カーディフ大学**の研修では、**物理・化学・生物・地学に関する専門的な授業をすべて英語で受講しました**。教科によっては、大学生レベルの実験に取り組むなどハイレベルなものでしたが、大学の先生からお褒めの言葉を頂戴するほど実験操作に長け、内容も深く理解することができました。



カーディフ大学の様子です



化学の実験に取り組んでいます



フィールドワークの様子です。野鳥の観察を行いました。



どの先生も、大変熱心に教えて下さいました。

また、「**小石川フィロソフィー3・4**」等で各自行った課題研究を、大学の先生や院生を前に英語で発表し、**質疑を受ける**という機会にも恵まれました。

出発前には、東京農工大学の先生や留学生の方をお招きし、プレゼンテーションについての指導を受けるなど準備を重ねました。当日は、日頃培った英語力を活かすとともに、課題研究で得た専門性を発揮し、堂々とプレゼンテーションを行うことができました。質疑応答も活発になされ、これからの課題研究を更に深めることができそうです。

カーディフ大学での研修以外では、**ウェールズに進出している日系現地企業（Panasonic, Sony）**を訪問しました。工場を見学し、世界で活躍している社員の方から、外国で働く心構えをお聞きしました。



パナソニックでは、外国で働く心構えを伺いました。

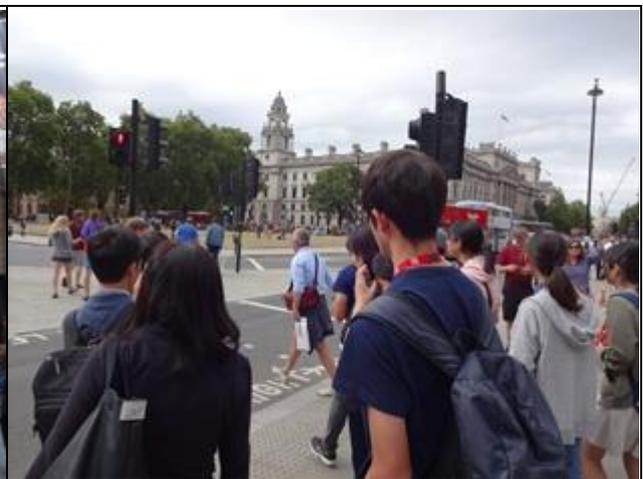


ソニーでは、現地従業員の方にもお話しを伺いました。

イギリスでの最終日は、ロンドン市内を見学し、イギリスの歴史・文化を学ぶとともに、**自然史博物館**のバックヤードツアーに参加し、貴重な標本群や保存方法などについて学ぶことができました。



自然史博物館のスケールに圧倒されました



ロンドン市内を見学し、見聞を深めました

本海外研修での経験を、校内 SSH 発表会で、小石川生に還元するとともに、東京都内 SSH 指定校合同発表会で発表し、さらに成果を広げていきたいと思えます。

最後になりましたが、今回の SSH 海外研修では、JST の支援を受けるとともに、本校同窓会から多大なご支援をいただきました。ここに、深く御礼いたします。